９月の中小企業月次景況調査

〔令和８年９月末現在〕

全国中小企業団体中央会
National Federation of Small Business Associations

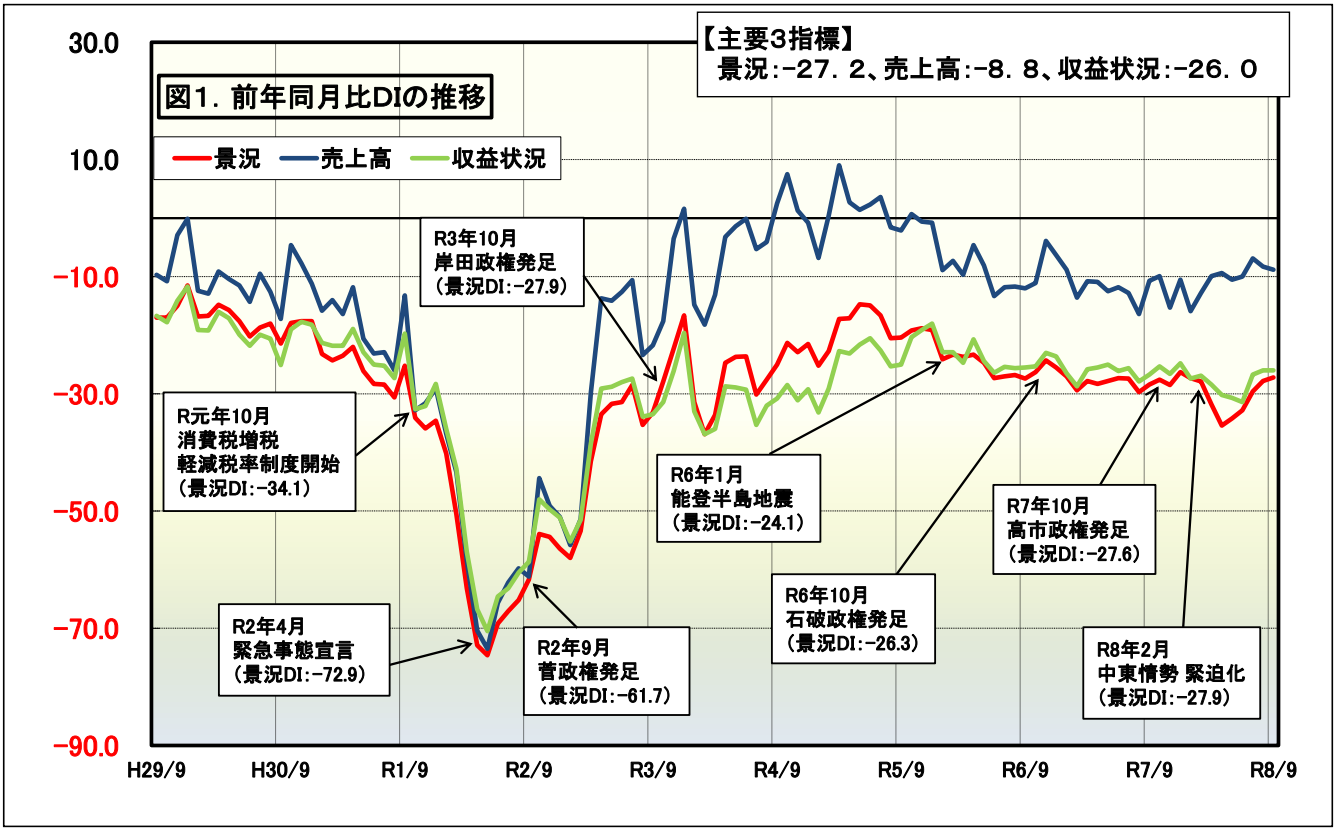
令 和 ８ 年 １ ０ 月 ２ ６ 日 発 表

◎９月の景況ＤＩは小幅ながら５カ月連続で上昇となった

○製造業では、引き続きＡＩ・半導体関連需要が堅調であり、特に鉄鋼・金属の景況感が上昇した。業種別では12業種中５業種が上昇となり、製造業全体の景況感は前月比横ばいながら、前年同月比では大幅な上昇となった。

○非製造業においても、長雨による悪影響はあったものの、残暑が前年よりも穏やかであり、大型連休による効果もあったことから、サービス業などの景況感が上昇となった。非製造業全体では小幅ながら前月比上昇となった。

○引き続き原材料価格は高止まりしており、最低賃金引き上げによる経営への悪影響も懸念されている。価格転嫁が物価上昇や人件費上昇に追い付いておらず、収益面への悪影響が懸念されている。



※DIとは、Diffusion Index（ディフュージョン・インデックス）の略で、好転（増加・上昇）したとする割合から、悪化（減少・低下）したとする割合を差し引いた値です。

本調査は、都道府県中央会に設置されている情報連絡員〔中小企業の組合(協同組合、商工組合等)の役職員約２，４２０名に委嘱〕による調査結果です。
調査の対象は、情報連絡員が所属する組合の組合員の全体的な景況(前年同月比)です。

（本発表資料のお問い合わせ先）
全国中小企業団体中央会
担当：政策推進部
ＴＥＬ　０３－３５２３－４９０２
https://www.chuokai.or.jp

９月の調査結果のＤＩ概況

【指標ＤＩの動向とポイント】

1. 景況ＤＩは堅調なＡＩ・半導体関連需要に支えられ、小幅ながら５カ月連続で上昇となった。一方で、原材料価格の高止まりに対して、価格転嫁は十分に行われているとは言えず、節約志向による消費低迷への懸念や中東情勢の不透明感も残っており、加えて一層の人件費上昇に対応する必要もあることから、先行きについては引き続き不透明な状況となっている。
2. 売上高ＤＩは堅調ではあるものの伸びは鈍化しており、収益状況ＤＩについても、売上伸張の鈍化と、人件費上昇、価格転嫁難航への懸念により伸び悩んでいる。

全指標の前年同月比ＤＩの推移（直近１年間）

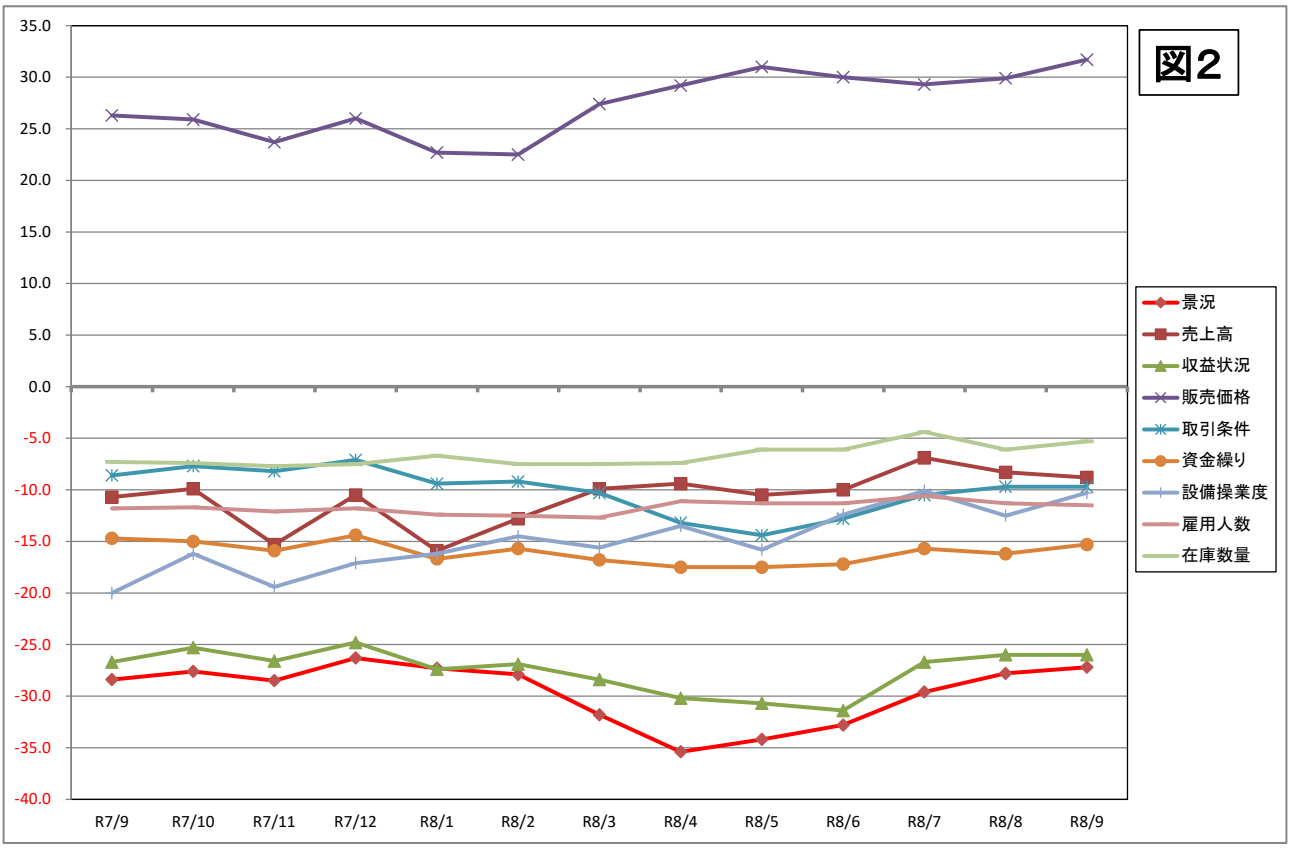


表1	R7 ９月	10月	11月	12月	R8 １月	２月	３月	４月	５月	６月	７月	８月	９月	前月比
景　　況	-28.4	-27.6	-28.5	-26.3	-27.3	-27.9	-31.8	-35.4	-34.2	-32.8	-29.6	-27.8	-27.2	0.6
売 上 高	-10.7	-9.9	-15.3	-10.5	-15.9	-12.8	-9.9	-9.4	-10.5	-10.0	-6.9	-8.3	-8.8	-0.5
収益状況	-26.7	-25.3	-26.6	-24.8	-27.4	-26.9	-28.4	-30.2	-30.7	-31.4	-26.7	-26.0	-26.0	0.0
販売価格	26.3	25.9	23.7	26.0	22.7	22.5	27.4	29.2	31.0	30.0	29.3	29.9	31.7	1.8
取引条件	-8.6	-7.7	-8.2	-7.1	-9.4	-9.2	-10.3	-13.2	-14.4	-12.8	-10.5	-9.7	-9.7	0.0
資金繰り	-14.7	-15.0	-15.9	-14.4	-16.7	-15.7	-16.8	-17.5	-17.5	-17.2	-15.7	-16.2	-15.3	0.9
設備操業度	-20.0	-16.2	-19.4	-17.1	-16.2	-14.5	-15.6	-13.5	-15.8	-12.4	-10.1	-12.5	-10.3	2.2
雇用人員	-11.8	-11.7	-12.1	-11.8	-12.4	-12.5	-12.7	-11.1	-11.3	-11.3	-10.6	-11.3	-11.5	-0.2
在庫数量	-7.3	-7.4	-7.7	-7.5	-6.7	-7.5	-7.5	-7.4	-6.1	-6.1	-4.4	-6.1	-5.3	0.8

【情報連絡員報告から総括する景況調査のＰＯＩＮＴ】

引き続き、高止まりする原材料価格に対する価格転嫁に苦心する声が多く聞かれた。また、最低賃金引き上げへの対応を懸念する声も多く聞かれた。加えて金利上昇による悪影響に関する声も多く聞かれ、一層のコスト上昇による資金繰りへの悪影響が懸念されている。

《主な報告内容》

◇価格転嫁に苦心する事業者の声

・同業者の倒産が続いている。製造コスト上昇に価格転嫁が追いつかず、コストを回収できていない事業者が増加している。金利上昇が追い打ちをかけ、資金繰りが厳しい状況である。（宮城/食料品）
・コスト増加分を販売価格に転嫁する必要があるものの、消費者の節約志向が強く、値上げによる販売数量の減少が懸念されることから、十分な価格転嫁は難しい状況である。（秋田/その他の製造業）
・鋼材、各種消耗品、工具、機械等の値上げが続いている。特に長期に渡る製作においては途中での価格転嫁は、実際に認められていないと実感している。元請けに伝えたとしても、次の仕事を他社に取られてしまう不安もあり、大きな声を出すことができない。（福島/鉄鋼・金属）
・大型連休期間は盛況となり、増収となった。一方、仕入価格の高騰が続いており、価格転嫁が追い付かないことから、増益には至っていない。今後も原料、資材等の値上げが予定されており、価格転嫁が課題となっている。（石川/商店街）
・需要低迷が長く続くなか、用紙価格の再値上げの要請があり、一年も経たないうちの値上げ要請を、お客様が受け入れてくれるのか不安である。最低賃金も待ったなしで引き上げることになるため、ますます収益が減ってしまうだろう。今後、どのようにして収益を確保していけばいいのか、頭の痛いところである。（徳島/印刷）
・資材価格の高騰が続くなか、加工費への価格転嫁が十分に進んでおらず、建築工事において重要な役割を担っているにもかかわらず、適正な価格が確保出来ないことに矛盾を感じている。（鹿児島/鉄鋼・金属）

◇最低賃金引き上げに関する事業者の声

・10 月 18 日から最低賃金引き上げが決定したが、組合各社においては収益悪化が確実に進行するものと推測される。原材料費の高騰はいまだ収束しておらず、最低賃金の引上げと合わせて二重苦の状況にある。（茨城/食料品）
・最低賃金の見直しがされたが販売価格に反映できないため、非常に困っている。もう少し町工場の経営者の意見を届けてほしい。（茨城/電気機器）
・最低賃金の引上げ等による人件費の増加もあり、今後、諸物価のさらなる高騰が見込まれる一方で、価格転嫁が思うよう進展しておらず、対応に苦慮している。（埼玉/一般機器）
・最低賃金の引上げは、中小企業の人件費負担を増大させるとともに、地域間の賃金格差による価格競争への影響も懸念される。人材確保と適正な価格転嫁を進め、厳しい経営環境を乗り越える経営力が求められる。（神奈川/鉄鋼・金属）
・最低賃金の上昇に伴い、労務費の負担が増える。諸物価の高騰も含め、資金繰りに影響してくる。価格転嫁を進めるための検討が課題となる。（新潟/鉄鋼・金属）
・10 月から最低賃金が引き上げられるが、大幅な賃金増が困難な分、福利厚生の充実や職場環境の改善を通じて従業員の定着と働きやすさを高めようという動きが広がっている。（愛知/印刷）
・物価の上昇が続く中、加工賃はなかなかあがらない。10 月からの最低賃金引き上げにより、今以上に状況は悪くなると思われる。（和歌山/繊維工業）
・愛媛県の最低賃金は 60 円上昇が決定したが、今後は業種別の特定最低賃金が決まっていく。こちらも県の最低賃金同様に大幅なアップが予想される。価格転嫁については各社検討していると思うが、これ以上の価格転嫁が消費者に受け入れられるかは悩ましいところ。（愛媛/一般機器）

※　後述の「Ｐｉｃｋ　ｕｐ！」ならびに「情報連絡員からの報告（要旨）」等も参照。

1．景　況

	前月	当月	増減	傾向	
全体	▲ 27.8	▲ 27.2	0.6	上昇	↗
製造業	▲ 28.1	▲ 28.1	0.0	不変	→
非製造業	▲ 27.7	▲ 26.5	1.2	上昇	↗

DIが大きく上昇した業種	10ポイント超	なし
	5～10ポイント	鉄鋼・金属、サービス業
DIが大きく悪化した業種	10ポイント超	なし
	5～10ポイント	紙・紙加工品、輸送機器、その他の製造業

表２．業種別【景　況】ＤＩの推移（前年同月比）

業種名	7/9	7/10	7/11	7/12	8/1	8/2	8/3	8/4	8/5	8/6	8/7	8/8	8/9	前月比
全体	**-28.4**	**-27.6**	**-28.5**	**-26.3**	**-27.3**	**-27.9**	**-31.8**	**-35.4**	**-34.2**	**-32.8**	**-29.6**	**-27.8**	**-27.2**	**0.6**
製造業	**-34.5**	**-34.1**	**-35.3**	**-32.6**	**-31.8**	**-30.3**	**-33.9**	**-36.3**	**-37.4**	**-33.6**	**-30.9**	**-28.1**	**-28.1**	**0.0**
食料品	-26.4	-27.1	-29.7	-26.8	-31.8	-31.8	-32.1	-38.3	-38.1	-38.6	-41.3	-40.0	**-37.8**	**2.2**
繊維工業	-46.4	-45.0	-46.4	-41.6	-42.7	-41.6	-45.5	-45.8	-47.2	-42.6	-34.2	-34.9	**-39.3**	**-4.4**
木材・木製品	-46.4	-45.6	-44.8	-41.8	-39.4	-39.2	-41.6	-50.9	-52.6	-49.5	-52.2	-42.9	**-40.9**	**2.0**
紙・紙加工品	-52.2	-45.9	-48.0	-54.5	-43.5	-40.9	-52.2	-47.9	-43.5	-59.1	-47.6	-50.0	**-59.1**	**-9.1**
印刷	-37.3	-43.1	-41.4	-40.7	-46.6	-34.5	-42.1	-48.3	-50.0	-50.9	-41.4	-41.4	**-42.1**	**-0.7**
化学・ゴム	-14.3	-17.8	-10.4	-17.8	-7.1	-10.7	-28.6	-18.5	-29.6	-18.5	-23.1	-19.2	**-19.2**	**0.0**
窯業・土石製品	-35.0	-33.1	-35.8	-38.5	-38.1	-36.7	-42.4	-42.0	-45.1	-41.2	-37.1	-41.9	**-44.7**	**-2.8**
鉄鋼・金属	-35.1	-38.1	-39.0	-32.6	-28.8	-25.2	-30.3	-23.8	-23.7	-16.9	-13.9	-11.1	**-5.9**	**5.2**
一般機器	-31.0	-28.5	-26.7	-24.8	-23.8	-20.0	-20.0	-28.0	-27.6	-15.3	-10.0	0.9	**4.0**	**3.1**
電気機器	-18.5	-14.8	-18.5	-11.1	-3.7	0.0	0.0	-11.5	-3.7	0.0	11.1	19.2	**20.0**	**0.8**
輸送機器	-18.2	-11.4	-11.3	0.0	4.5	-9.1	-7.0	-2.6	-7.6	-10.2	-13.5	5.1	**-2.5**	**-7.6**
その他の製造業	-40.0	-38.0	-50.0	-42.9	-37.3	-32.0	-40.0	-40.0	-43.7	-32.6	-23.5	-30.6	**-37.5**	**-6.9**
非製造業	**-23.7**	**-22.6**	**-23.2**	**-21.4**	**-23.6**	**-26.0**	**-30.1**	**-34.8**	**-31.9**	**-32.1**	**-28.7**	**-27.7**	**-26.5**	**1.2**
卸売業	-26.0	-23.5	-27.7	-26.1	-24.4	-29.3	-28.7	-35.5	-30.2	-29.2	-23.7	-27.7	**-29.5**	**-1.8**
小売業	-34.8	-34.0	-35.3	-33.1	-34.7	-37.1	-41.0	-43.0	-36.2	-40.0	-33.9	-34.3	**-36.0**	**-1.7**
商店街	-36.9	-34.8	-30.2	-23.4	-33.6	-31.7	-31.0	-37.9	-28.3	-31.2	-37.3	-34.4	**-31.6**	**2.8**
サービス業	-9.4	-5.8	-8.7	-8.5	-15.5	-13.4	-15.1	-19.7	-19.2	-19.3	-19.3	-19.8	**-13.0**	**6.8**
建設業	-18.3	-19.7	-18.3	-20.0	-18.2	-24.5	-27.3	-37.7	-38.2	-37.0	-29.8	-24.2	**-21.5**	**2.7**
運輸業	-20.0	-23.5	-20.0	-17.9	-14.7	-21.6	-42.6	-41.6	-45.8	-39.4	-33.3	-27.5	**-31.0**	**-3.5**
その他の非製造業	-10.4	-6.9	-16.6	0.0	-6.7	-6.6	-24.2	-19.4	-25.8	-25.0	-26.5	-25.8	**-25.0**	**0.8**

Ｐｉｃｋ　ｕｐ！

「サービス」：長雨による悪影響はあったものの、残暑が前年よりも穏やかであり、大型連休の効果もあったため、景況ＤＩは前月比6.8ポイントの上昇となった。売上高ＤＩについては前月比8.5ポイントの上昇、収益状況ＤＩは同1.5ポイントの上昇となり、主要３指標ともに上昇となった。

「紙・紙加工品」：海外市場の回復傾向を背景に輸出向け古紙の需要が増加しており、段ボール古紙価格が上昇傾向。価格上昇による悪影響が懸念されており、景況ＤＩは前月比9.1ポイントの低下となった。売上高ＤＩについては前月比4.5ポイントの低下となったが、収益状況ＤＩは4.6ポイントの上昇となった。

２．売 上 高

	前月	当月	増減	傾向	
全体	▲ 8.3	▲ 8.8	▲ 0.5	悪化	↘
製造業	▲ 7.7	▲ 8.6	▲ 0.9	悪化	↘
非製造業	▲ 8.6	▲ 9.1	▲ 0.5	悪化	↘
DIが大きく上昇した業種	10ポイント超	なし			
	5～10ポイント	木材・木製品、一般機器、サービス業			
DIが大きく悪化した業種	10ポイント超	窯業・土石製品、輸送機器			
	5～10ポイント	卸売業、小売業、その他の非製造業			

表３．業種別【売上高】ＤＩの推移（前年同月比）

業種名	7/9	7/10	7/11	7/12	8/1	8/2	8/3	8/4	8/5	8/6	8/7	8/8	8/9	前月比
全体	-10.7	-9.9	-15.3	-10.5	-15.9	-12.8	-9.9	-9.4	-10.5	-10.0	-6.9	-8.3	-8.8	-0.5
製造業	-15.1	-14.2	-21.8	-18.2	-18.4	-14.0	-12.7	-7.6	-15.2	-7.7	-7.4	-7.7	-8.6	-0.9
食料品	-9.2	-1.5	-4.5	-10.8	-15.4	-11.1	-16.1	-3.5	-3.9	-13.9	-12.3	-14.6	-14.9	-0.3
繊維工業	-22.7	-29.7	-36.3	-24.8	-30.9	-25.7	-24.1	-20.5	-24.5	-19.4	-24.0	-30.2	-28.1	2.1
木材・木製品	-30.7	-26.3	-25.8	-33.1	-35.1	-28.7	-23.9	-33.9	-43.9	-26.5	-35.4	-25.0	-19.1	5.9
紙・紙加工品	13.0	-41.7	-32.0	-40.9	-30.5	-9.1	-26.1	-13.1	-26.1	-13.7	-19.1	-9.1	-13.6	-4.5
印刷	-20.3	-27.6	-31.0	-32.2	-24.2	-15.6	-17.6	-22.5	-25.9	-33.3	-24.2	-24.2	-19.3	4.9
化学・ゴム	17.8	21.4	-3.5	14.3	17.8	0.0	-3.6	14.8	0.0	18.5	7.7	0.0	0.0	0.0
窯業・土石製品	-20.4	-10.3	-27.7	-30.4	-32.8	-26.4	-25.5	-13.0	-24.8	-16.1	-24.2	-23.7	-36.9	-13.2
鉄鋼・金属	-21.3	-10.7	-29.7	-15.9	-18.2	-11.5	-10.6	1.5	-2.2	8.1	15.4	12.6	14.0	1.4
一般機器	-12.7	-29.5	-21.0	-11.5	-10.5	-4.8	-1.0	4.0	-16.4	20.5	25.0	18.7	24.7	6.0
電気機器	7.4	3.7	-14.8	7.4	3.7	7.4	25.9	3.9	25.9	33.3	14.8	23.1	28.0	4.9
輸送機器	0.0	15.9	-4.5	11.6	22.7	9.1	23.2	23.1	7.7	7.7	23.7	33.3	15.4	-17.9
その他の製造業	-24.0	-22.0	-42.0	-26.6	-13.7	-14.0	-12.0	-14.0	-33.4	-20.4	-4.0	-14.3	-12.5	1.8
非製造業	-7.3	-6.7	-10.3	-4.6	-13.9	-11.9	-7.8	-10.8	-6.8	-11.6	-6.5	-8.6	-9.1	-0.5
卸売業	2.5	-2.5	-15.3	-6.4	-4.5	-6.4	1.0	0.0	9.1	13.7	8.1	3.0	-5.0	-8.0
小売業	-17.6	-18.7	-24.1	-21.8	-33.5	-29.7	-24.4	-26.5	-15.2	-24.7	-15.6	-17.2	-23.2	-6.0
商店街	-21.0	-17.7	-18.9	5.1	-21.5	-19.8	-5.0	-14.5	-4.4	-14.4	-15.8	-9.5	-11.6	-2.1
サービス業	4.7	11.9	14.1	8.5	-2.5	6.2	3.6	5.7	10.3	-5.4	8.2	4.4	12.9	8.5
建設業	-13.1	-13.3	-14.0	-7.9	-13.4	-18.4	-13.0	-22.1	-24.5	-19.5	-15.9	-17.3	-14.0	3.3
運輸業	0.8	-1.5	-10.0	-0.8	-0.8	3.1	-0.7	-6.2	-20.6	-18.2	-10.8	-17.5	-16.3	1.2
その他の非製造業	6.9	6.9	16.7	30.0	3.4	0.0	-3.4	12.9	-6.4	0.0	-8.9	-6.4	-12.5	-6.1

Ｐｉｃｋ ｕｐ！

「木材・木製品」：住宅購入等において、今後の物価・金利上昇を見越した駆け込み需要が発生しているとの声が聞かれ、売上高ＤＩは前月比5.9ポイントの上昇となった。景況ＤＩは前月比2.0ポイント、収益状況ＤＩは前月比2.1ポイントの上昇となり、主要３指標ともに２カ月連続で上昇となった。一方で、資材高騰や金利上昇による悪影響が懸念されている。

「窯業・土石製品」：資材高騰や天候不順の影響により工期遅れが発生しているとの声が聞かれ、売上高ＤＩは前月比13.2ポイントの低下となった。景況ＤＩについても前月比2.8ポイントの低下となり、１年前との対比でも大幅に低い水準での推移となっている。

３．収益状況

	前月	当月	増減	傾向	
全体	▲ 26.0	▲ 26.0	0.0	不変	→
製造業	▲ 25.5	▲ 25.3	0.2	上昇	↗
非製造業	▲ 26.3	▲ 26.7	▲ 0.4	悪化	↘
DIが大きく上昇した業種	10ポイント超	なし			
	5～10ポイント	電気機器			
DIが大きく悪化した業種	10ポイント超	輸送機器			
	5～10ポイント	なし			

表４．業種別【収益状況】ＤＩの推移（前年同月比）

業種名	7/9	7/10	7/11	7/12	8/1	8/2	8/3	8/4	8/5	8/6	8/7	8/8	8/9	前月比
全体	-26.7	-25.3	-26.6	-24.8	-27.4	-26.9	-28.4	-30.2	-30.7	-31.4	-26.7	-26.0	-26.0	0.0
製造業	-31.7	-28.6	-31.0	-29.3	-29.3	-27.9	-28.4	-30.6	-33.6	-31.2	-26.3	-25.5	-25.3	0.2
食料品	-31.0	-27.7	-25.7	-30.4	-33.8	-29.3	-36.1	-39.8	-36.7	-42.5	-42.4	-35.6	-34.3	1.3
繊維工業	-40.0	-39.6	-43.7	-35.4	-38.1	-31.9	-36.6	-33.7	-39.6	-42.6	-32.4	-41.6	-44.9	-3.3
木材・木製品	-42.1	-30.7	-30.2	-34.7	-41.3	-34.8	-33.6	-36.7	-39.5	-37.1	-32.7	-31.2	-29.1	2.1
紙・紙加工品	-34.8	-37.5	-40.0	-36.4	-34.8	-18.2	-17.4	-8.7	-26.1	-27.3	-23.8	-27.3	-22.7	4.6
印刷	-33.9	-46.6	-39.7	-44.0	-41.4	-39.7	-36.9	-48.3	-63.8	-54.4	-46.6	-37.9	-36.9	1.0
化学・ゴム	-14.3	-7.2	-6.9	-10.7	7.1	-10.7	-17.9	-3.7	-37.0	-25.9	-23.1	-15.4	-19.2	-3.8
窯業・土石製品	-31.4	-24.2	-32.1	-30.4	-32.1	-33.9	-33.6	-30.6	-39.1	-32.0	-25.0	-35.9	-36.2	-0.3
鉄鋼・金属	-31.3	-28.2	-31.3	-25.0	-24.2	-24.4	-23.5	-23.2	-20.7	-14.7	-12.3	-10.3	-5.9	4.4
一般機器	-25.2	-29.5	-32.3	-20.0	-20.0	-23.8	-18.1	-29.0	-27.5	-17.4	-11.0	-6.9	-5.0	1.9
電気機器	-7.4	0.0	-22.2	-11.1	0.0	0.0	7.4	-15.4	3.7	7.4	7.4	0.0	8.0	8.0
輸送機器	-20.5	-9.1	-18.1	-14.0	-6.8	-6.8	-11.7	-5.1	-7.7	-5.1	-10.5	12.8	-5.1	-17.9
その他の製造業	-38.0	-38.0	-36.0	-38.8	-29.5	-34.0	-22.0	-28.0	-33.4	-36.8	-13.7	-22.5	-27.0	-4.5
非製造業	-22.9	-22.5	-23.0	-21.3	-25.9	-26.1	-28.4	-30.0	-28.4	-31.4	-26.9	-26.3	-26.7	-0.4
卸売業	-22.5	-17.5	-22.8	-23.6	-16.5	-23.8	-22.7	-21.5	-21.1	-21.7	-19.1	-20.6	-25.0	-4.4
小売業	-31.0	-36.5	-36.5	-36.9	-40.7	-40.2	-38.7	-40.1	-34.0	-41.9	-32.9	-35.6	-37.6	-2.0
商店街	-34.4	-29.1	-27.0	-16.4	-37.4	-32.3	-28.5	-36.1	-31.4	-33.8	-34.8	-35.7	-34.2	1.5
サービス業	-13.0	-7.2	-7.9	-9.9	-20.5	-14.5	-18.7	-17.5	-15.3	-23.9	-15.4	-11.9	-10.4	1.5
建設業	-20.5	-24.9	-26.0	-26.1	-25.6	-28.7	-28.5	-34.6	-35.1	-34.0	-31.5	-27.1	-25.9	1.2
運輸業	-18.4	-19.5	-19.2	-7.8	-11.0	-12.3	-34.9	-36.2	-39.7	-35.7	-30.2	-33.5	-32.5	1.0
その他の非製造業	-6.9	-10.4	3.3	6.6	10.0	-3.3	-17.3	-3.2	-25.8	-9.4	-35.3	-16.1	-15.7	0.4

Ｐｉｃｋ ｕｐ！

「鉄鋼・金属」：半導体関連業界を始め、多くの業種からの受注が好調に推移しているとの声が聞かれ、収益状況ＤＩは前月比4.4ポイントの上昇と、７カ月連続の上昇となった。景況ＤＩについても前月比5.2ポイント上昇、売上高ＤＩについても同1.4ポイントの上昇と主要３指標ともに上昇となった。

「　小　売　」：多くの商品が値上げされ、消費者の節約志向が高まっているとの声が聞かており、収益状況ＤＩは前月比2.0ポイントの低下となった。景況ＤＩについても前月比1.7 ポイントの低下となり、売上高ＤＩは前月比6.0ポイントの低下と主要３指標ともに低下となった。

４．資金繰り、販売価格、取引条件、設備操業度、雇用人員、在庫数量

(1)資金繰り	前月	当月	増減	傾向	
全体	▲ 16.2	▲ 15.3	0.9	上昇	↗
製造業	▲ 16.8	▲ 16.4	0.4	上昇	↗
非製造業	▲ 15.7	▲ 14.6	1.1	上昇	↗
(2)販売価格	前月	当月	増減	傾向	
全体	29.9	31.7	1.8	上昇	↗
製造業	29.8	30.0	0.2	上昇	↗
非製造業	29.8	33.1	3.3	上昇	↗
(3)取引条件	前月	当月	増減	傾向	
全体	▲ 9.7	▲ 9.7	0.0	不変	→
製造業	▲ 5.6	▲ 5.3	0.3	上昇	↗
非製造業	▲ 12.8	▲ 13.0	▲ 0.2	悪化	↘
(4)設備操業度	前月	当月	増減	傾向	
製造業	▲ 12.5	▲ 10.3	2.2	上昇	↗
(5)雇用人員	前月	当月	増減	傾向	
全体	▲ 11.3	▲ 11.5	▲ 0.2	悪化	↘
製造業	▲ 12.6	▲ 11.6	1.0	上昇	↗
非製造業	▲ 10.4	▲ 11.5	▲ 1.1	悪化	↘
(6)在庫数量	前月	当月	増減	傾向	
全体	▲ 6.1	▲ 5.3	0.8	上昇	↗
製造業	▲ 4.3	▲ 4.9	▲ 0.6	悪化	↘
非製造業	▲ 8.7	▲ 6.0	2.7	上昇	↗

Calendar 2026

～～ 国内外の主なトピックス（令和８年１０月）～～

10月7日（水）	毎月勤労統計調査（速報、従業員 5 人以上の事業所）：厚生労働省 物価の変動を加味した働き手 1 人当たりの 8 月の実質賃金は、前年同月比 1.5%増で 8 カ月連続のプラスとなった。8 カ月連続でプラスとなるのは約 10 年振り。春闘による賃上げなどで賃金の伸びが物価上昇を上回った。名目賃金に当たる現金給与総額は同 3.8%増の 31 万 1364 円で、7 カ月連続で 3%を超えた。
10月8日（木）	国際収支統計（速報）：財務省 8 月の国際収支は、物品・サービスの取引や投資収益の状況を示す経常収支が 4 兆 620 億円の黒字となった。黒字は 19 カ月連続で、黒字幅は前年同月より 4339 億円拡大した。国内企業が海外に保有する子会社からの配当金が増えたことが主な要因。貿易収支は前年同月より 8015 億円悪化し、6877 億円の赤字となった。貿易赤字は 4 カ月連続。原油や半導体・電子部品などの輸入額が増加した。
10月8日（木）	景気ウォッチャー調査（街角景気）：内閣府 街角の景況感を示す現状判断指数（ＤＩ）が季節調整値で 47.0 と前月を 0.6 ポイント上回り、5 カ月連続で上昇した。残暑が前年より穏やかだったため、秋物商品の売れ行きが好調に推移し、地域によっては秋の大型連休の効果が寄与したと見られる。基調判断は、「持ち直しの動きがみられる」と据え置いた。

表5. 主要指標の業種別 ＤＩ(前年同月比)

（令和8年9月末現在）

	業界の景況	売上高	収益状況	販売価格	取引条件	資金繰り	設備操業度	雇用人員	在庫数量
全　　体	−27.2	−8.8	−26.0	31.7	−9.7	−15.3	−10.3	−11.5	−5.3
製　造　業	−28.1	−8.6	−25.3	30.0	−5.3	−16.4	−10.3	−11.6	−4.9
非 製 造 業	−26.5	−9.1	−26.7	33.1	−13.0	−14.6		−11.5	−6.0

（製造業）

業　種　名	業界の景況	売上高	収益状況	販売価格	取引条件	資金繰り	設備操業度	雇用人員	在庫数量
食　料　品	−37.8	−14.9	−34.3	39.8	−8.0	−22.4	−7.9	−14.9	−2.0
繊　維　工　業	−39.3	−28.1	−44.9	15.9	−14.0	−23.4	−12.2	−13.1	−15.9
木材・木製品	−40.9	−19.1	−29.1	21.8	−10.0	−18.2	−12.7	−9.1	−7.3
紙・紙加工品	−59.1	−13.6	−22.7	59.1	0.0	−9.1	−54.5	−22.7	−4.6
印　　刷	−42.1	−19.3	−36.9	31.5	−7.0	−22.8	−26.3	−22.8	−10.5
化 学 ・ ゴ ム	−19.2	0.0	−19.2	53.8	−3.9	−11.6	−3.9	−3.8	−3.9
窯業・土石製品	−44.7	−36.9	−36.2	44.6	−3.1	−20.8	−30.8	−10.0	−4.7
鉄 鋼 ・ 金 属	−5.9	14.0	−5.9	25.2	0.7	−11.9	−2.2	−13.3	−3.8
一　般　機　器	4.0	24.7	−5.0	18.8	0.0	0.0	12.8	−7.0	1.0
電　気　機　器	20.0	28.0	8.0	20.0	0.0	0.0	16.0	−4.0	12.0
輸　送　機　器	−2.5	15.4	−5.1	12.8	2.5	−5.2	5.1	5.1	2.6
その他の製造業	−37.5	−12.5	−27.0	27.1	−8.3	−22.9	−16.6	−12.5	−12.5

（非製造業）

業　種　名	業界の景況	売上高	収益状況	販売価格	取引条件	資金繰り	設備操業度	雇用人員	在庫数量
卸　売　業	−29.5	−5.0	−25.0	42.5	−8.5	−13.5		−6.0	3.0
小　売　業	−36.0	−23.2	−37.6	34.7	−21.6	−21.8		−15.1	−13.5
商　店　街	−31.6	−11.6	−34.2	42.6	−18.1	−19.4		−9.0	−2.6
サ ー ビ ス 業	−13.0	12.9	−10.4	34.0	−9.4	−5.1		−6.1	
建　設　業	−21.5	−14.0	−25.9	25.4	−16.7	−14.0		−17.1	
運　輸　業	−31.0	−16.3	−32.5	16.2	−1.6	−16.3		−18.6	
その他の非製造業	−25.0	−12.5	−15.7	28.2	−3.1	−6.2		0.0	

表6. 主要指標の業種別景況調査総括表(前年同月比)

（令和 8年　9月　末現在）

（単位:%）

項目	業界の景況			売上高			収益状況			販売価格			取引条件			資金繰り			設備操業度			雇用人員			在庫数量		
業種	好転	不変	悪化	増加	不変	減少	好転	不変	悪化	上昇	不変	低下	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	上昇	不変	低下	増加	不変	減少	増加	不変	減少
全体	5.4	61.9	32.6	23.0	45.2	31.8	8.2	57.6	34.2	36.6	58.5	4.9	3.8	82.7	13.5	3.0	78.7	18.3	11.3	67.1	21.6	3.6	81.4	15.1	10.8	73.1	16.1
製造業	5.8	60.3	33.9	23.7	44.1	32.3	8.8	57.1	34.1	34.3	61.4	4.3	4.2	86.3	9.5	3.0	77.6	19.4	11.3	67.1	21.6	3.9	80.6	15.5	10.3	74.5	15.2
非製造業	5.2	63.1	31.7	22.4	46.0	31.5	7.7	57.9	34.4	38.4	56.2	5.3	3.5	80.0	16.5	2.9	79.6	17.5	0.0	0.0	0.0	3.3	81.9	14.8	11.6	70.9	17.6

（製造業）

項目	業界の景況			売上高			収益状況			販売価格			取引条件			資金繰り			設備操業度			雇用人員			在庫数量		
業種	好転	不変	悪化	増加	不変	減少	好転	不変	悪化	上昇	不変	低下	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	上昇	不変	低下	増加	不変	減少	増加	不変	減少
食料品	2.0	58.2	39.8	16.9	51.2	31.8	6.5	52.7	40.8	41.3	57.2	1.5	2.0	88.1	10.0	1.0	75.6	23.4	8.0	76.1	15.9	0.5	84.1	15.4	13.4	71.1	15.4
繊維工業	0.0	60.7	39.3	9.3	53.3	37.4	0.9	53.3	45.8	23.4	69.2	7.5	1.9	82.2	15.9	0.9	74.8	24.3	6.5	74.8	18.7	2.8	81.3	15.9	6.5	71.0	22.4
木材・木製品	2.7	53.6	43.6	18.2	44.5	37.3	3.6	63.6	32.7	30.9	60.0	9.1	1.8	86.4	11.8	0.9	80.0	19.1	5.5	76.4	18.2	3.6	83.6	12.7	10.0	72.7	17.3
紙・紙加工品	0.0	40.9	59.1	27.3	31.8	40.9	9.1	59.1	31.8	59.1	40.9	0.0	13.6	72.7	13.6	9.1	72.7	18.2	0.0	45.5	54.5	0.0	77.3	22.7	13.6	68.2	18.2
印刷	5.3	47.4	47.4	19.3	42.1	38.6	7.0	49.1	43.9	36.8	57.9	5.3	8.8	75.4	15.8	3.5	70.2	26.3	15.8	42.1	42.1	1.8	73.7	24.6	5.3	78.9	15.8
化学・ゴム	7.7	65.4	26.9	26.9	46.2	26.9	15.4	50.0	34.6	53.8	46.2	0.0	3.8	88.5	7.7	3.8	80.8	15.4	19.2	57.7	23.1	7.7	80.8	11.5	11.5	73.1	15.4
窯業・土石製品	1.5	52.3	46.2	18.5	26.2	55.4	6.9	50.0	43.1	46.9	50.8	2.3	2.3	92.3	5.4	2.3	74.6	23.1	5.4	58.5	36.2	4.6	80.8	14.6	11.5	72.3	16.2
鉄鋼・金属	11.9	70.4	17.8	33.3	47.4	19.3	14.8	64.4	20.7	31.1	63.0	5.9	8.1	84.4	7.4	3.7	80.7	15.6	16.3	65.2	18.5	5.2	76.3	18.5	8.1	80.0	11.9
一般機器	13.9	76.2	9.9	37.6	49.5	12.9	15.8	63.4	20.8	21.8	75.2	3.0	4.0	92.1	4.0	5.9	88.1	5.9	25.7	61.4	12.9	6.9	79.2	13.9	8.9	83.2	7.9
電気機器	32.0	56.0	12.0	48.0	32.0	20.0	28.0	52.0	20.0	24.0	72.0	4.0	4.0	92.0	4.0	16.0	68.0	16.0	28.0	60.0	12.0	12.0	72.0	16.0	24.0	64.0	12.0
輸送機器	10.3	76.9	12.8	41.0	33.3	25.6	12.8	69.2	17.9	17.9	76.9	5.1	12.8	76.9	10.3	5.1	84.6	10.3	15.4	74.4	10.3	12.8	79.5	7.7	7.7	87.2	5.1
その他の製造業	4.2	54.2	41.7	18.8	50.0	31.3	6.3	60.4	33.3	31.3	64.6	4.2	2.1	87.5	10.4	2.1	72.9	25.0	4.2	75.0	20.8	0.0	87.5	12.5	10.4	66.7	22.9

（非製造業）

項目	業界の景況			売上高			収益状況			販売価格			取引条件			資金繰り			設備操業度			雇用人員			在庫数量		
業種	好転	不変	悪化	増加	不変	減少	好転	不変	悪化	上昇	不変	低下	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	上昇	不変	低下	増加	不変	減少	増加	不変	減少
卸売業	5.5	59.5	35.0	26.5	42.0	31.5	6.5	62.0	31.5	50.5	41.5	8.0	5.0	81.5	13.5	4.0	78.5	17.5				4.5	85.0	10.5	17.0	69.0	14.0
小売業	4.2	55.6	40.2	18.6	39.5	41.8	5.8	50.8	43.4	43.7	47.3	9.0	1.6	75.2	23.2	2.3	73.6	24.1				1.9	81.0	17.0	8.0	70.4	21.5
商店街	3.2	61.9	34.8	18.7	51.0	30.3	3.2	59.4	37.4	45.8	51.0	3.2	0.6	80.6	18.7	0.6	79.4	20.0				1.3	88.4	10.3	11.6	74.2	14.2
サービス業	7.2	72.6	20.2	31.0	50.9	18.1	12.3	65.0	22.7	36.5	61.0	2.5	5.8	79.1	15.2	5.4	84.1	10.5				5.8	82.3	11.9			
建設業	5.7	67.1	27.2	17.1	51.8	31.1	6.6	61.0	32.5	30.7	64.0	5.3		81.1	16.7	0.9	84.2	14.9				2.6	77.6	19.7			
運輸業	4.7	59.7	35.7	20.9	41.9	37.2	10.1	47.3	42.6	17.8	80.6	1.6	5.4	87.6	7.0	3.1	77.5	19.4				2.3	76.7	20.9			
その他の非製造業	3.1	68.8	28.1	21.9	43.8	34.4	15.6	53.1	31.3	31.3	14:24	3.1	6.3	84.4	9.4	6.3	81.3	12.5				6.3	87.5	6.3			

表7. 全国及び各地域別の【業界の景況・売上高・収益状況】(前年同月比)

(令和 8年 9月 末現在)

〔全 国〕

項目	業界の景況				売上高				収益状況			
業種	好転	不変	悪化	DI	増加	不変	減少	DI	好転	不変	悪化	DI
全体	5.4	61.9	32.6	−27.2	23.0	45.2	31.8	−8.8	8.2	57.6	34.2	−26.0
製造業	5.8	60.3	33.9	−28.1	23.7	44.1	32.3	−8.6	8.8	57.1	34.1	−25.3
非製造業	5.2	63.1	31.7	−26.5	22.4	46.0	31.5	−9.1	7.7	57.9	34.4	−26.7

〔北海道・東北地方〕

北海道, 青森県, 岩手県, 宮城県, 秋田県, 山形県, 福島県

項目	業界の景況				売上高				収益状況			
業種	好転	不変	悪化	DI	増加	不変	減少	DI	好転	不変	悪化	DI
全体	4.5	64.6	30.9	−26.4	27.3	43.1	29.6	−2.3	8.4	60.5	31.2	−22.8
製造業	4.5	62.7	32.7	−28.2	28.2	40.0	31.8	−3.6	12.7	52.7	34.5	−21.8
非製造業	4.5	65.7	29.9	−25.4	26.9	44.8	28.4	−1.5	6.0	64.7	29.4	−23.4

〔関東・甲信越地方〕

茨城県, 栃木県, 群馬県, 埼玉県, 千葉県, 東京都, 神奈川県, 新潟県, 長野県, 山梨県

項目	業界の景況				売上高				収益状況			
業種	好転	不変	悪化	DI	増加	不変	減少	DI	好転	不変	悪化	DI
全体	5.5	64.5	30.0	−24.5	22.5	44.5	33.0	−10.5	9.0	57.4	33.6	−24.6
製造業	5.0	64.1	30.9	−25.9	24.4	44.3	31.3	−6.9	9.2	59.2	31.7	−22.5
非製造業	5.9	64.7	29.4	−23.5	21.1	44.7	34.2	−13.1	8.8	56.1	35.0	−26.2

〔東海・北陸地方〕

静岡県, 愛知県, 岐阜県, 三重県, 富山県, 石川県, 福井県

項目	業界の景況				売上高				収益状況			
業種	好転	不変	悪化	DI	増加	不変	減少	DI	好転	不変	悪化	DI
全体	6.3	61.8	31.9	−25.6	21.7	49.2	29.1	−7.4	5.2	59.4	35.3	−30.1
製造業	8.5	56.4	35.1	−26.6	23.9	44.1	31.9	−8.0	5.9	56.4	37.8	−31.9
非製造業	4.1	67.0	28.9	−24.8	19.6	54.1	26.3	−6.7	4.6	62.4	33.0	−28.4

〔近畿地方〕

滋賀県, 京都府, 奈良県, 大阪府, 兵庫県, 和歌山県

項目	業界の景況				売上高				収益状況			
業種	好転	不変	悪化	DI	増加	不変	減少	DI	好転	不変	悪化	DI
全体	4.4	59.3	36.3	−31.9	22.2	45.6	32.3	−10.1	7.7	54.8	37.5	−29.8
製造業	4.3	60.7	35.0	−30.7	23.1	45.3	31.6	−8.5	12.0	55.6	32.5	−20.5
非製造業	4.6	58.0	37.4	−32.8	21.4	45.8	32.8	−11.4	3.8	54.2	42.0	−38.2

〔中国地方〕

鳥取県, 島根県, 岡山県, 広島県, 山口県

項目	業界の景況				売上高				収益状況			
業種	好転	不変	悪化	DI	増加	不変	減少	DI	好転	不変	悪化	DI
全体	8.7	63.5	27.9	−19.2	30.1	44.3	25.6	4.5	13.7	59.4	26.9	−13.2
製造業	8.7	57.3	34.0	−25.3	27.2	45.6	27.2	0.0	12.6	56.3	31.1	−18.5
非製造業	8.6	69.0	22.4	−13.8	32.8	43.1	24.1	8.7	14.7	62.1	23.3	−8.6

〔四国地方〕

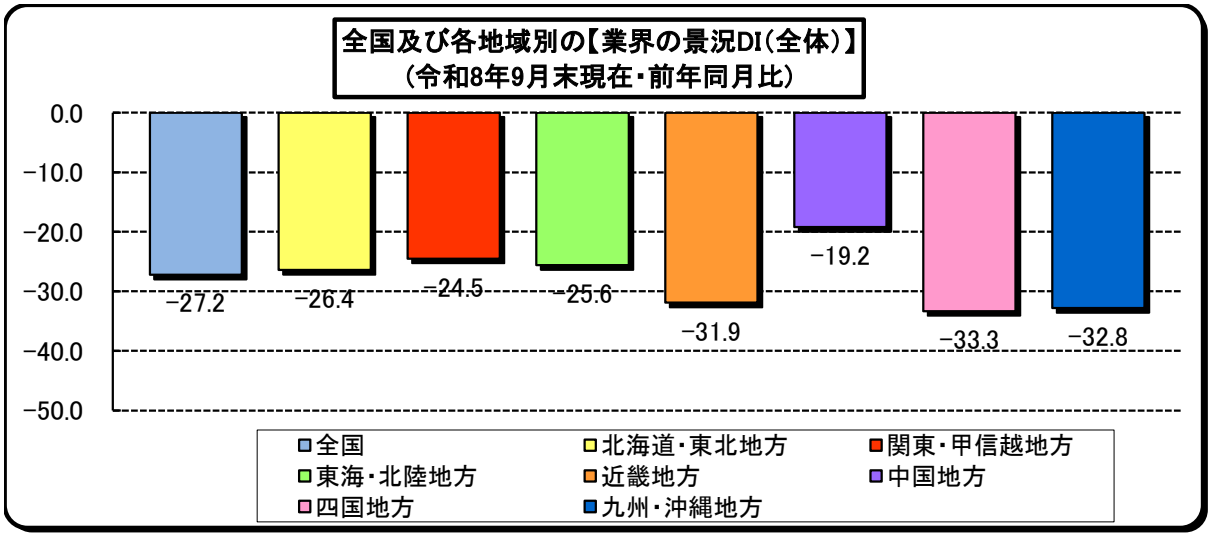
徳島県, 香川県, 愛媛県, 高知県

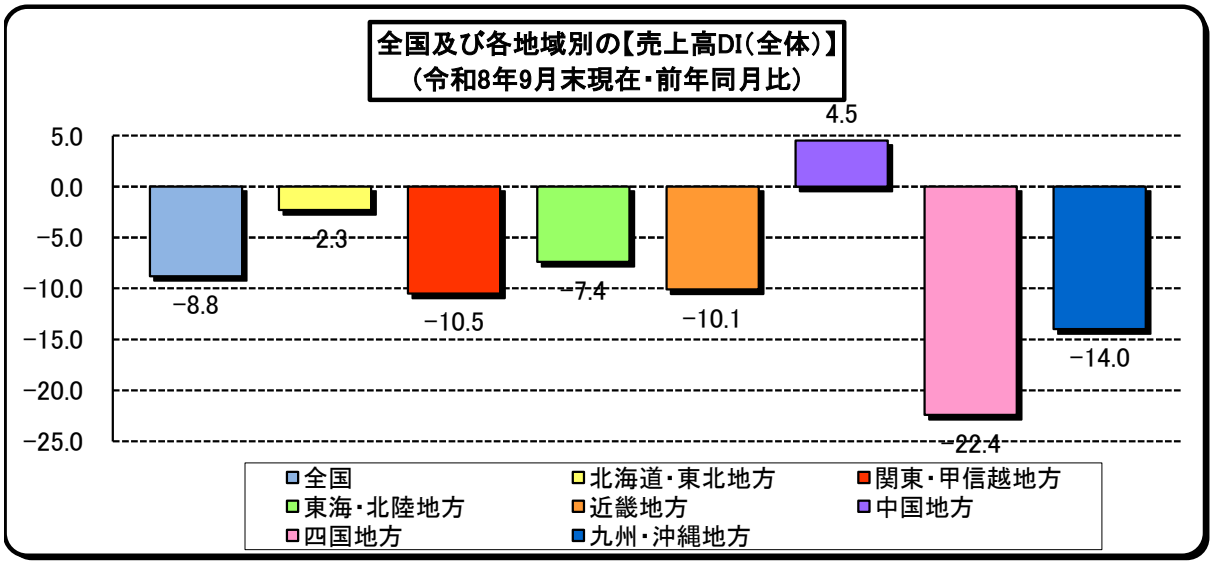
項目	業界の景況				売上高				収益状況			
業種	好転	不変	悪化	DI	増加	不変	減少	DI	好転	不変	悪化	DI
全体	2.3	62.1	35.6	−33.3	14.4	48.9	36.8	−22.4	4.0	57.5	38.5	−34.5
製造業	1.3	68.4	30.4	−29.1	15.2	51.9	32.9	−17.7	2.5	59.5	38.0	−35.5
非製造業	3.2	56.8	40.0	−36.8	13.7	46.3	40.0	−26.3	5.3	55.8	38.9	−33.6

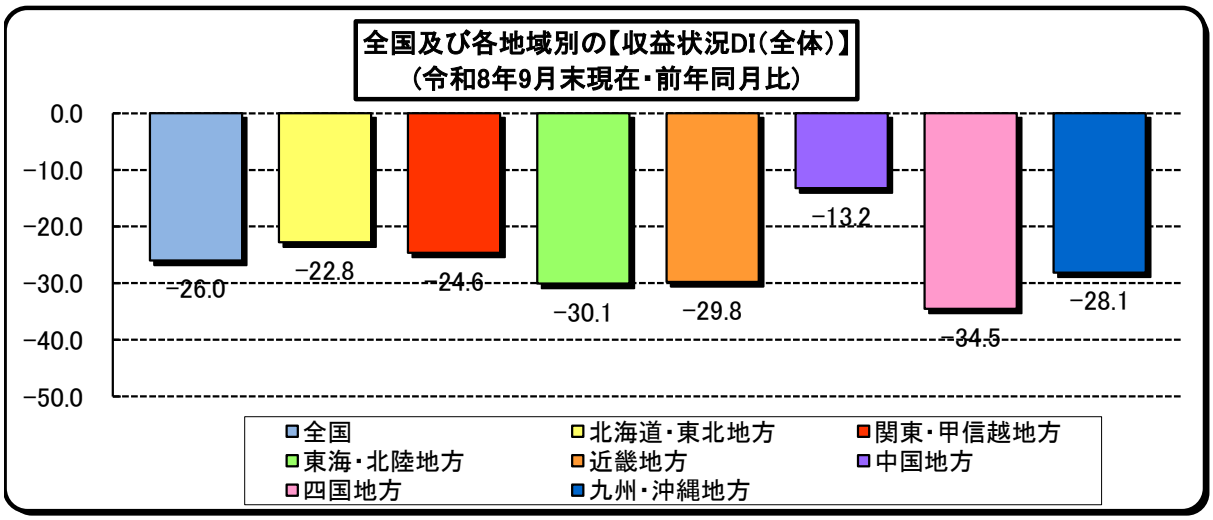
〔九州・沖縄地方〕

福岡県, 佐賀県, 長崎県, 熊本県, 大分県, 宮崎県, 鹿児島県, 沖縄県

項目	業界の景況				売上高				収益状況			
業種	好転	不変	悪化	DI	増加	不変	減少	DI	好転	不変	悪化	DI
全体	5.5	56.2	38.3	−32.8	21.8	42.4	35.8	−14.0	8.8	54.3	36.9	−28.1
製造業	6.3	54.2	39.4	−33.1	21.1	40.1	38.7	−17.6	7.0	58.5	34.5	−27.5
非製造業	5.0	57.5	37.6	−32.6	22.2	43.9	33.9	−11.7	10.0	51.6	38.5	−28.5

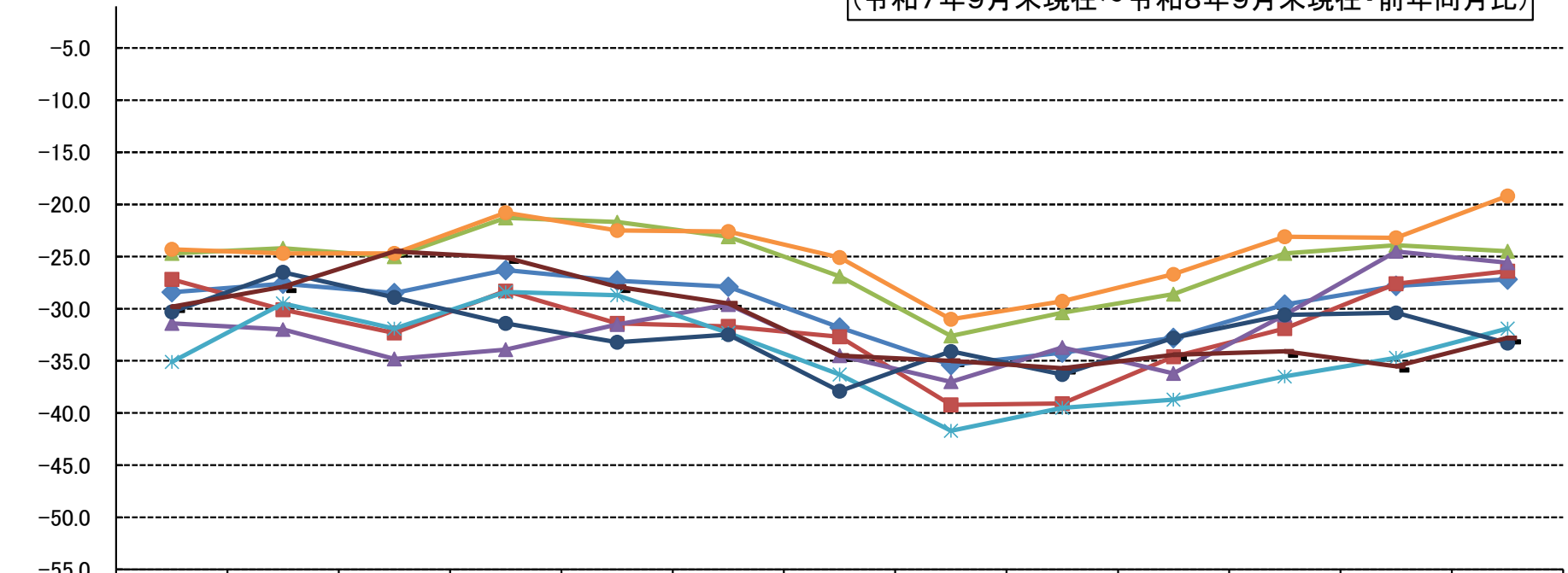






〔北海道・東北地方〕　北海道，青森県，岩手県，宮城県，秋田県，山形県，福島県
〔関東・甲信越地方〕　茨城県，栃木県，群馬県，埼玉県，千葉県，東京都，神奈川県，新潟県，長野県，山梨県
〔東海・北陸地方〕　静岡県，愛知県，岐阜県，三重県，富山県，石川県，福井県
〔近畿地方〕　滋賀県，京都府，奈良県，大阪府，兵庫県，和歌山県
〔中国地方〕　鳥取県，島根県，岡山県，広島県，山口県
〔四国地方〕　徳島県，香川県，愛媛県，高知県
〔九州・沖縄地方〕　福岡県，佐賀県，長崎県，熊本県，大分県，宮崎県，鹿児島県，沖縄県

全国及び各地域別の【業界の景況DI（全体）の推移】
（令和7年9月末現在～令和8年9月末現在・前年同月比）



	9月末	10月末	11月末	12月末	令和8年1月末	2月末	3月末	4月末	5月末	6月末	7月末	8月末	9月末
系列1	-28.4	-27.6	-28.5	-26.3	-27.3	-27.9	-31.8	-35.4	-34.2	-32.8	-29.6	-27.8	-27.2
系列2	-27.2	-30.1	-32.3	-28.3	-31.4	-31.7	-32.7	-39.2	-39.1	-34.6	-31.9	-27.6	-26.4
系列3	-24.7	-24.2	-25.0	-21.3	-21.7	-23.1	-26.9	-32.6	-30.4	-28.6	-24.7	-23.9	-24.5
系列4	-31.4	-32.0	-34.8	-33.9	-31.5	-29.6	-34.5	-37.0	-33.7	-36.2	-30.6	-24.5	-25.6
系列5	-35.1	-29.5	-31.9	-28.4	-28.7	-32.3	-36.3	-41.7	-39.5	-38.7	-36.5	-34.7	-31.9
系列6	-24.3	-24.7	-24.7	-20.8	-22.5	-22.6	-25.1	-31.0	-29.3	-26.7	-23.1	-23.2	-19.2
系列7	-30.3	-26.5	-28.9	-31.4	-33.2	-32.5	-37.9	-34.1	-36.3	-32.8	-30.6	-30.4	-33.3
系列8	-29.8	-27.9	-24.5	-25.1	-27.9	-29.5	-34.5	-35.0	-35.7	-34.4	-34.1	-35.5	-32.8

〔北海道・東北地方（系列2）〕北海道，青森県，岩手県，宮城県，秋田県，山形県，福島県
〔関東・甲信越地方（系列3）〕茨城県，栃木県，群馬県，埼玉県，千葉県，東京都，神奈川県，新潟県，長野県，山梨県
〔東海・北陸地方（系列4）〕静岡県，愛知県，岐阜県，三重県，富山県，石川県，福井県
〔近畿地方（系列5）〕滋賀県，京都府，奈良県，大阪府，兵庫県，和歌山県
〔中国地方（系列6）〕鳥取県，島根県，岡山県，広島県，山口県
〔四国地方（系列7）〕徳島県，香川県，愛媛県，高知県
〔九州・沖縄地方（系列8）〕福岡県，佐賀県，長崎県，熊本県，大分県，宮崎県，鹿児島県，沖縄県

※系列1は全国の値です。